



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回 10日発行
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

2019年を振り返る 令和時代にナルクはどう生きる?

間もなく令和元年も終わろうとしている。今年もナルクにとっても、その歴史に残る一年であった。何といつても注目は年号の変更のさ中、5月に行われた「設立25周年記念イベント」であろう。全国から650人を超えるナルクの会員が大阪のドーンセンターに集まり、大記念式典を行った。そのほか9月にはさわやか福祉財団の主催する「いきがい・助け合いサミットin大阪」の分科会運営に積極参加するなど、大きなイベントが相次いだ。また本部においては、昨年度設置したビジョン委員会の啓申を受けて、向こう3年間のナルクの進むべき道を示したほか、拠点においては設立周年記念イベントが相次ぎ、各地で「ナルクここにあり」を示すことができた。この多彩な1年を西村事務局長に振り返ってもらった。

この1年を振り返って

事務局長 西村順子

早くも1年を振り返る時期になりました。年齢を重ねる毎に時の過ぎるスピードが増して、つい最近の出来事があるか遠く感じられます。そこでこの1年に、どんなことがあったかを思い返してみます。

毎年、事ながら、ここ数年、我が国を襲う天災が増えたとはいえませんか? 年明け早々には北海道や熊本で震度6の地震がありました。台風シーズンには連続

して大きな台風と大雨が関東地方を襲い、甚大な被害を及ぼしました。ナルクの会員宅も床上浸水や屋根瓦の損傷などで被害を受けた方がおられます。いずれも拠点の仲間が力を合わせて支援に動いたことです。被災された方々への見舞いの気持ちと拠点の皆さまの素早い行動に頭の下がる思いです。

火災による大きな事件・事故もありました。京都アニメーションが訳の分からない男に放火され多

くの若い命が失われ、海外ではノートルダム大聖堂の火災がありました。世界中をビツクリさせました。どちらにも世界中から多額の寄付金や見舞金が寄せられ、その額の大きさにも驚かされました。

もう一つ嫌なニュース。高齢ドライバーによる交通事故で、これは我々にも無縁ではなく、「移動」を中心に活動している拠点到、いろいろな影を落とされています。公共交通機

関が十分でない地域ではナルクの移送が大きな移動手段であり、その地の高齢者からは随分感謝されています。しかし、この種の事故がある度に提供者は、免許証の返納や、ボランティアでの移送活動を止めるように、家族から責められます。そのために移送活動に制限を設ける年齢に制限を設ける拠点も出てきました。

「事故が起きてからでは遅い」と、「足を奪われて困っている人を助けなければ」との、どちらも正しい意見の狭間で拠点は苦渋の選択をしています。

夢が膨らむ出来事もありました。小さな宇宙探査機「はやぶさ2」の偉業です。はるか遠い惑星まで旅をし、その岩石を採取してそれを持ち帰るとの計画で、既にいくつものミッションをこなし、無事の帰還を祈るばかりになっています。科学の世界は凡人には想像もつかない速さで進歩しています。元号が替わり、「令



季の輝き

寒ブナ漁 西の湖にて 写真 隈井九州男

和」の呼び名も馴染んできました。即位礼で目にした古式ゆかしい儀式に、我が国の歴史と伝統的な文化に、改めてこの国の国民であることに誇りを持った祝賀行事でした。

ナルクにも新時代が到来

時を同じくして、ナルクも新しい時代に向けてビジョンを示しました。

設立以来25年、「時間預託」という斬新なシステムを作り、時代背景にも後押しされて急速に伸びた時期がありました。しかし、10年前をピークに会員数・拠点数が右肩下がりに転じています。これには様々な理由がありますが、急激に伸びたときと同じく時代背景が大きく影響していると思います。

しかし、「仕方がない」で済ませるわけにはいきません。知恵を絞って新たな時代に適応したナルクにしていくべく、いくつかの対策を示しました。実行できることから少しずつ取り組みたいものです。

その設立25周年を祝って5月には記念総会と記念行事が行われました。総会に続いての基調講演には堀田力氏を迎えて「四半世紀の軌跡」開かれていくナルクのタイトルでお話を伺いました。いつものように、分かりやすい言葉で説得力のある内容でした。

「このような団体は偉大な創設者が引退すると組織そのものが潰れてしまう事が多いが、ナルクは上手く立派に継続している。これは会員個々の熱い気持ちが支えているから。それは、自分たちが地域で支え手の中心にいる。しかもそれは、任務ではなく自分も楽しみながら周りに任せている。自分も楽しいと思え、安心して分け与えている。」そして「ナルクは介護保険ができる前から高齢者の支援に関わってきた。そして

その介護保険が頼りにならなくなってきた現在、ナルクはどうすべきか? 時代の先端を行くナルクだから今後も期待している」とお褒めの言葉とプレッシャーをいただきました。

講演後のお楽しみ「パフォーマンスフエスタ」には全国の拠点を代表するアーティストが腕を競い、見応えのある舞台が繰り広げられました。

別会場では作品展と物産展が開かれ、ここでも日頃の成果と各地の名産品が並び、人気の商品はあっという間に売り切れました。「シニアパワー」の真髄を見た「ナルクの行事ではありませんが、ナルクと縁の深いさわやか福祉財団(堀田力会長)が主催する「いきがい・助け合いサミットin大阪」な大勢が参加しました。参加人数3300人、全国から福祉関係は言うに及ばず各界の著名人が登壇する分科会が54も用意されました。今回は大阪での開催でしたが、

来年は名古屋、再来年は横浜での開催予定です。行き着くテーマは「生きがい・助け合い」です。

仲間同士の助け合いを地域にまで広げる

ナルクの理念は「自立・奉仕・助け合い・生きがい」です。私達が掲げている理念と全く同じです。今、「生きがい・助け合い」はそんなに必要でしょうか? 介護保険が施行されて20年になります。が、もうはやびてきました。保険料は上がっても給付は押さえられます。おまけに要支援は介護保険から外されて地方自治体の地域支援事業に移され、地域によって給付の差があります。国の税収が減れば公助は当にありません。

残された道は互助です。即ち助け合いしかありません。

しかし、我々は、戦後の高度経済成長を遂げる間に、助け合いのテクニクを忘れてしまいました。個人主義が是とされ、気遣いはお節介とされてきました。これをいきなり「地域で助け合いましょう」と言われてもできることではありません。ナルクの「仲間同士の助け合い」を徐々に広げて、地域での助け合いの核になれないものでしょうか。そして誰かを支えることによつて、自分も生きがいをもたらえて心豊かになれる。制度ではコントロールできないソフト中のソフト面をどうにかして我々が訴えていきたいと思います。

高齢者が高齢者の全てを支えることはできません。しかし、部分的に支えられるところがあります。一緒に買い物に行ったり、世間話をしたり、お茶を飲んだり、そんな些細なことが地域で普通に行われるようになれば、高齢者は孤立せずに暮らせますし、支える側も生きがいを得て元氣になります。

令和元年の終わりに、この1年を振り返りつつ、新しい年へのナルクのイメージを作っていきます。

ナルク25年、新たな時代へ!

生きがい 助け合い 自立 奉仕 理念

変化をとらえ 組織の充実!!

NALC NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ

その紹介保険が頼りにならなくなってきた現在、ナルクはどうすべきか? 時代の先端を行くナルクだから今後も期待している」とお褒めの言葉とプレッシャーをいただきました。

講演後のお楽しみ「パフォーマンスフエスタ」には全国の拠点を代表するアーティストが腕を競い、見応えのある舞台が繰り広げられました。

別会場では作品展と物産展が開かれ、ここでも日頃の成果と各地の名産品が並び、人気の商品はあっという間に売り切れました。「シニアパワー」の真髄を見た「ナルクの行事ではありませんが、ナルクと縁の深いさわやか福祉財団(堀田力会長)が主催する「いきがい・助け合いサミットin大阪」な大勢が参加しました。参加人数3300人、全国から福祉関係は言うに及ばず各界の著名人が登壇する分科会が54も用意されました。今回は大阪での開催でしたが、

来年は名古屋、再来年は横浜での開催予定です。行き着くテーマは「生きがい・助け合い」です。

仲間同士の助け合いを地域にまで広げる

ナルクの理念は「自立・奉仕・助け合い・生きがい」です。私達が掲げている理念と全く同じです。今、「生きがい・助け合い」はそんなに必要でしょうか? 介護保険が施行されて20年になります。が、もうはやびてきました。保険料は上がっても給付は押さえられます。おまけに要支援は介護保険から外されて地方自治体の地域支援事業に移され、地域によって給付の差があります。国の税収が減れば公助は当にありません。

残された道は互助です。即ち助け合いしかありません。

しかし、我々は、戦後の高度経済成長を遂げる間に、助け合いのテクニクを忘れてしまいました。個人主義が是とされ、気遣いはお節介とされてきました。これをいきなり「地域で助け合いましょう」と言われてもできることではありません。ナルクの「仲間同士の助け合い」を徐々に広げて、地域での助け合いの核になれないものでしょうか。そして誰かを支えることによつて、自分も生きがいをもたらえて心豊かになれる。制度ではコントロールできないソフト中のソフト面をどうにかして我々が訴えていきたいと思います。

高齢者が高齢者の全てを支えることはできません。しかし、部分的に支えられるところがあります。一緒に買い物に行ったり、世間話をしたり、お茶を飲んだり、そんな些細なことが地域で普通に行われるようになれば、高齢者は孤立せずに暮らせますし、支える側も生きがいを得て元氣になります。

令和元年の終わりに、この1年を振り返りつつ、新しい年へのナルクのイメージを作っていきます。



25周年記念では作品展と物産展も開かれた

「国際健康フォーラムin台湾」に出席して

会長 神野 毅



多数の聴衆で埋まった国際健康フォーラムの会場



日台時間預託交流座談会風景

日本の厚労省にあたる台湾政府の衛生福利部からお招きを受け、10月20日から22日まで、台北で開催された国際フォーラムに参加してきました。

今回の訪台に関しては、台湾政府だけでなく、長陽科技大学の孫助理教授からも「ぜひ出席してほしい」という強い要請がありました。

同教授はナルクとは昔から深いご縁があります。以前、台湾政府の要請で、高畑名誉会長、藤岡相本は国立長寿医療センター・鳥羽研二名誉理事長が担当されま

講演会を開催したことがありましたが、そのとき、間に立つてくださったのが長陽科技大学の孫助理教授だったので、さして、今回のフォーラムは「21世紀の都市生活・持続可能な、安全と健康」という全体テーマに沿って実施されました。開会のセレモニーは衛生福利部の陳部長の挨拶のあと、カナダ、英国、オランダ、日本などの著名な大学教授が基調講演を行いました。日本は国立長寿医療センター・鳥羽研二名誉理事長が担当されま

した。徐々に高齢化が進む中、高齢者が21世紀の都市で、いかに永続的に安全で健康的な生活を送れるかがテーマとして取り上げられました。

2日目の21日には9のセッションで議論が展開され、私は「高齢者の孤独」のセッションで「一人暮らしの高齢者と社会参加」について日本の状況、大都市大阪での状況とその社会参加についてスピーチをいたしました。

最終日の22日には「独居高齢者の社会参加」についてナルクの大坂での実態を報告しました。このスピーチの基になるデータは、以前調査しました。台湾にも「時間

内15拠点の「独居高齢者の実態調査」で、下の表の表を参照ください。

調査対象は3,743名で、そのうち845名の会員が一人暮らしの会員という結果でした。うち9のセッションで議論が展開され、私は「高齢者の孤独」のセッションで「一人暮らしの高齢者と社会参加」について日本の状況、大都市大阪での状況とその社会参加についてスピーチをいたしました。

最終日の22日には「独居高齢者の社会参加」についてナルクの大坂での実態を報告しました。台湾にも「時間

拠点名	会員数	独居	会員比	役員	預託活動	利用	奉仕活動	クラブ活動	会費会員	対独居比
大阪北	240	57	24	6	18	12	18	25	15	26
枚方	760	140	18	3	14	23	16	20	62	44
高槻・島本	331	68	21	0	6	17	11	13	20	29
豊中・池田	171	15	9	3	0	3	3	6	2	13
寝屋川	172	28	16	1	2	2	11	16	5	18
堺	142	46	32	7	2	3	2	19	10	22
吹田	123	25	20	6	5	2	6	13	2	8
茨木・摂津	410	99	24	8	4	31	27	0	9	9
東大阪・大東	280	62	22	3	7	13	5	9	28	45
守口	47	12	26	0	0	0	6	0	3	25
交野	274	46	17	2	20	12	11	31	8	17
四条畷	211	39	18	0	5	12	12	4	16	38
大阪南	225	97	43	6	5	16	7	27	34	35
箕面	214	54	25	3	23	2	12	31	11	20
堺泉北	143	57	40	4	6	19	17	26	4	7
	3743	845	23	52	117	167	164	240	229	27

つれづれの記

令和元年の出来事

早いもので今年もあと1か月足らずで新しい年を迎える。歳をとるほど月日が早く過ぎると感じるのは、感動することが少ないからだ。人生100年時代というが、残された時間はそう長くはない。気になる事や、やってみようと思った事に手を付けていこうと今年



彼女に出会ったのは、お互い中学2年の夏。大阪府下の中学校から一人ずつ出席して、50人ほどで泊4日のキャンパス合宿が貝塚・二色浜海水浴場で行われた。

現地まで送ってもらった先生と別れる時、心細さといったらない。生徒たちの部屋割りから始まり、団体行動が開始された。まずは水着に着替えて海へ。その頃、泳げなかった私には面白くも何ともなく、帰りたくて、もう夜になるとひどいホームシックになった。

翌朝、落ち込んでいた。彼女は近くの学校から来た女の子がいた。彼女は近くの学校から来た女の子がいた。彼女は近くの学校から来た女の子がいた。

私はこれで元気です

二わたしの健康法をお教えします
歩行器で1日に3万歩

卒寿となり、外歩きが無理になった。健康の基である歩行は辞めるわけにいかない。そこで、居間に設置した歩行器を活用して、午前と午後2回、歩行を続けている。

この頃は1日3万歩を超えるのが当たり前になった。朝夕2回、手帳に体重を記録しているが、理想は64kg。外食が続くと68kgぐらいになる。

朝食はバナナとヨーグルトにパンを少々。夕食は汁椀が中心。腹7分目、おやつはナシで頑張っている。

2階の書斎に大好きな本が収納されているが、90歳を過ぎたころから医者から階段の昇降を禁じられた。読みたいときは妻に頼むか、娘が来宅したとき、持って下りてきてもらうことにしている。しかし居間にも本棚があり、最近購入した本は、ほとんど、そこに置くようにしているので、不自由がなくなった。娘が月に1回、車で大型店につれていってくれるので、その時に新刊書などを購入するようにしている。

(北神三田拠点・司 雅博)

「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。

枚方拠点

設立25周年記念行事を盛大に開催

枚方拠点(天の川)で定評のある早瀬昇

ひらかた仙亭で「設立25周年記念パーティー」を開催した。

福祉施設関連の来賓、本部の神野会長、西村事務局長、交野芸能タイムに入る。

拠点などの皆様が出席のもと、197名による記憶に残る大パーティーとなった。

恒例のイベントの実施を見合わせて、25周年行事に絞り込み、「楽しいナルク」を実感のテーマで、楽しいプログラムづくりを心がけた。

午前は巧みな話術で盛り上がった。最後はビンゴゲームで会場は活気と笑顔に満ちて「天の川クラブ」会員として、ワンチームを肌で感じた25周年の記念パーティーだった。



本年は、恒例のイベントの実施を見合わせて、25周年行事に絞り込み、「楽しいナルク」を実感のテーマで、楽しいプログラムづくりを心がけた。

最北の拠点

美幌では設立10周年記念式典挙行

10月26日、美幌拠点では設立10周年の記念式典を開催した。

来賓として町長、社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、本部神野毅会長、とかち、釧路、中標津3拠点の仲間と会員65名が出席、盛大な記念式となった。

会員の祝舞で幕開け、「ナルク新たな時代へ」を題目に神野会長から記念講演が行われた。

町長の祝辞、元代表2名に感謝状を贈



表2名に感謝状を贈

呈、10年の歩みを映像で紹介し式典終了。

祝賀会は、神野会長の祝辞、社会福祉協議会長の乾杯、道東3拠点代表のメッセージをいただき、マジックショー、ナルクのxクイズ、ビンゴゲームに会場が沸き上がった。

会員一同この記念式典を契機に「楽しい・安心・感動のナルク」を目指して頑張っていくと決意を新たにしました。

ナルク亀岡では、13年前から毎年「地域交流会」を開催し、近くに住む会員同士が集まって膝を交えてナルクへの想いや意見・提言を出し合っています。

運営委員会として、年1回の改まった定時総会の場では出しにくいような気軽な意見や本音が聞ける重要な機会と捉えています。

今年8月〜9月に5回に分けて行い、全会場には拠点3役が必ず出席して会の運営状況を報告し、会員からの意見を真摯に引き出すようにしています。参加者総数は103人と昨年よりさらに多くなり、全会員の3分の1が参加しました。

今回は3月の20周年記念時に策定した「ナルク亀岡ビジョン21」をどのような実現していくかをメンバーに参加者で話し合いました。

特に安心のナルクを実現するための「ナルク119体制(相談窓口)の確立」や楽しいナルクを実現するための「地域をつどい」の実施方法について、具体的な提言が多く出されました。

また、亀岡拠点は賃借物件ながら自前の事務所を持っており、この点が他の拠点と異なる点です。これが手狭で、手洗い等も使いにくい、といった会員の切実な声もありました。これらを集約した47項目について、9月と10月の運営委員会でも2回に分けて慎重に討議し、今後の拠点運営に生かしていく計画であり、すでに一部は具体的に動き出しています。

亀岡拠点 第13回 地域交流会開催

ナルク亀岡では、13年前から毎年「地域交流会」を開催し、近くに住む会員同士が集まって膝を交えてナルクへの想いや意見・提言を出し合っています。

運営委員会として、年1回の改まった定時総会の場では出しにくいような気軽な意見や本音が聞ける重要な機会と捉えています。

今年8月〜9月に5回に分けて行い、全会場には拠点3役が必ず出席して会の運営状況を報告し、会員からの意見を真摯に引き出すようにしています。参加者総数は103人と昨年よりさらに多くなり、全会員の3分の1が参加しました。

今回は3月の20周年記念時に策定した「ナルク亀岡ビジョン21」をどのような実現していくかをメンバーに参加者で話し合いました。

特に安心のナルクを実現するための「ナルク119体制(相談窓口)の確立」や楽しいナルクを実現するための「地域をつどい」の実施方法について、具体的な提言が多く出されました。

また、亀岡拠点は賃借物件ながら自前の事務所を持っており、この点が他の拠点と異なる点です。これが手狭で、手洗い等も使いにくい、といった会員の切実な声もありました。これらを集約した47項目について、9月と10月の運営委員会でも2回に分けて慎重に討議し、今後の拠点運営に生かしていく計画であり、すでに一部は具体的に動き出しています。

「私のおすすめレシピ」は今月休載します。



交野拠点 西本淳子

交野の「ごきげんさん会」は毎月第2木曜日、15〜20人の独り暮らしのメンバーが集まり、事務所

で例会を開いています。テーマは特に決まらず、フリータイム形式で情報交換をしています。

普段は独り暮らしのぞきに来てくださり、気楽な反面、共通

の悩み、困り事が多々あり、結論は出ないものの、それぞれの考え方を聞かせてもらい、皆さん、参考にさせていただきます。

生活の中の事例としては、独り暮らしを狙った詐欺の対処法、身辺の整理に深い爪痕を残し去った。緊急処置は無事終了し、A

の言葉をお願いした。9月15日、N会員より、倉庫が倒壊したので撤去・整理をして欲しいという要請があった。たまたま当日は草取りボランティアの予定日だったので、作業終了後、5人で訪問した。まず、台風で倒壊した倉庫

内の整理を行った。処分する物とまだ使える物に仕分けし、あと現場を下見、中島地区在住の男性会員3人に、出動を要請し

た。3人も快諾してくれたので、ブルーシート調達組と屋根昇降組みに分かれて作業に入る。緊急処置は無事終了し、Aの言葉をお願いした。

8月23、24日は、子供たちが待ちに待った地蔵盆です。私の地区ではお地蔵様毎にグループがあり、当番に当たった家では、飾りを作ったり行燈に絵を描いたりして準備をして、当日は庭に職を立て、家にお地蔵様

を安置し、グループ内の子供たちに食事を振る舞うのです。私のグループは若夫婦が3軒、あとの14

手一杯で、Nさんも「気長に待たなければ仕方がない」と半ばあきらめ顔だった。地域行事にナルクの力を

びわこ高島拠点 中江玲子

8月23、24日は、子供たちが待ちに待った地蔵盆です。私の地区ではお地蔵様毎にグループがあり、当番に当たった家では、飾りを作ったり行燈に絵を描いたりして準備をして、当日は庭に職を立て、家にお地蔵様

おらが拠点の 熱いひと

豊中・池田拠点 清水正弘さんの巻

豊中・池田拠点の「熱いひと」、清水正弘さんを紹介いたします。清水さんは現在副代表を務めてお



清水正弘さん

会長の薫陶を受け、ナルク創立の発起人にもなられ、ナルクの立ち上げに奮闘されました。その後、豊中市議会議員に

ようになりました。ナルクでは、困りごと、心配ごと、トラブルなどが発生すると、誰もがまず一番に清水さんに相談します。清水さんは嫌な顔一つせず、会員からの相談に乗ってくれたり、会員からの依頼事項にも進んで解決してくださいます。会員からの依頼事項や問題処理だけでなく、行政との対応や社会福祉協議会、豊中市ボランティア協会との連

携は清水さんの独壇場です。過日行われた拠点事務所引越しの際にも、その引越しの段取りなどに存分に力を発揮しています。

(記・大井文夫)

岡山県瀬戸内市のご出身で、昭和40年、松下幸之助氏が創立した、松下電器株式会社(現パナソニック)へ入社されました。

生産部門を経て、労働組合の幹部になられました。そこでナルク創立者の、高畑名譽

立候補され、7期連続、28年間の議員生活を勤め上げられました。

議員を辞めてから、本格的にナルクの活動に尽力される

清水さんがモットーにされているのは「縁ある人に最善を尽くす」の言葉です。

ゆくゆくは拠点の代表となつて、会員のリーダーシップをとってくださるものと思っ

ています。

清水さんがモットーにされているのは「縁ある人に最善を尽くす」の言葉です。

ゆくゆくは拠点の代表となつて、会員のリーダーシップをとってくださるものと思っ

ています。

(記・大井文夫)



当拠点は昨年、設立15周年を迎え、現在会員数は60数名です。グラウンド・ゴルフ同好会は拠点設立と同時に発足し、現在も当拠点自立活動の中心として活動しています。

グラウンド・ゴルフ大会は当初年2回開催していましたが、現在は4回の開催です。参加者は平均20名程度です。競技は6ゲーム48ホールの個人戦で、楽しみは仲間との会話、昼食時の談笑、そしてゲーム終了後の成績発表です。

「どこでも」「だれでも」できる生涯スポーツとして昭和57年(1982年)に誕生し、今や全国各地で約350万人の愛好者がいます。平成27年(2015年)国民体育大会公式競技種目となり、国民的スポーツ

拠点だより

【上田・千曲】住民参加型の「支え合いづくり」に協力

上田市の公民課から、ナルクが実施している助け合いの活動内容について説明して欲しいとの依頼があり、代表・副代表・事務局長の3人が出席した。

【各務原】八十路会発足に向け

8月23日、「八十路会」発足に向け、打ち合せの準備会を実施した。

【茨木・摂津】障害者のプール活動を支援

今年も、茨木市障害福祉課と障害福祉

センターが市民プールで開催した「障害者プール活動」の支援活動を行った。

【高槻・島本】同好会で体力測定

【栃木】市民公開講座で実践事例を発表

【銚子】千葉科学大学看護学部学生との交流会

【読者随想】クロヨンを見に行きました

そのクロヨンに「寝屋川拠点」の25人ほどが出かけた。

【読者随想】そのクロヨンに「寝屋川拠点」の25人ほどが出かけた。

として認知されるまでになりました。グラウンド・ゴルフは、年齢、性別、体力、運動能力などがプレーの結果に大きく影響することがないように、各ホールの距離、用具などを工夫し開発されたスポーツです。また審判員を必要としない。自分の責任でプレーし、自分自身が自分自身を審判します。グラウンド・ゴルフはプレーヤー同士がお互いに教えあい、学びあうというスポーツの原点を大事にするスポーツなのです。



第1回京滋エリアグラウンドゴルフ大会

平成30年(2018年)の福井国体には、当拠点の女性会員が京都府代表の一員として出場し、京都府につけられたものと安堵しています。これからも、グラウンド・ゴルフの奥深さを追い求めていきます。(記・藍 慎二)

のコースだが、大町から出発する人も多いうつだ。立山・黒部アルペンルートを超えるには、電

射す太陽の光に反射して眩しく美しい。こちらが見た目にも高年齢なせいか、車中ではよく席を譲って

方々もよく理解していらつしやる。旅の楽しみは温泉と食事。宴会の後の各自の部屋でのおしやべりは大盛り上がり。

温泉は硫黄の香りのする天然温泉、料理は地元でとれた野菜と魚と地酒、それが最高の楽しみだ。今回のホテルでも料理は豪華で、期待のとおり楽しめた。それに加えて日本の誇るアルペンルート、この想像を絶する大自然の環境と人々が作り上げた創造の世界。そこに立つだけで心が躍動する。やはりクロヨンは観光地としても我が国随一の世界だ。

【読者随想】そのクロヨンに「寝屋川拠点」の25人ほどが出かけた。

ナルクの現勢

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 活動拠点数 (Number of Activity Bases). Includes data for various regions like 北海道, 東北, etc., and a total of 108 bases.

本部 住所電話は1面題字下に記載 東京事務所〒105-0004 東京都港区新橋6-15-8 空調ビル2F 電話03-6435-6351



団体賛助会員 (敬称略)

- List of member organizations including あいおいニッセイ同和損害保険, 亀岡病院, 関西電力労働組合, etc.